



皆さんこんにちは！
 地域おこし協力隊の渡辺と池田です。
 今月の集落支援だよりでは、新しい形の集落支援の取り組みと福島大学オンライン講演の様子についてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当

渡辺 ^{たかひろ} 貴洋 隊員

池田 ^{じゅん} 潤 隊員



弥平四郎集落でのビデオ通話の様子

新しく地域おこし協力隊員が加わりました

6月より、集落支援担当の地域おこし協力隊として池田潤隊員が加わりました。引き続き集落支援員と協力しながら、3名で集落行事などの支援に取り組んでいきます。よろしくお願いします。

新しい形の集落支援の取り組み

弥平四郎集落にてタブレット端末を活用した新たな集落支援の取り組みを試験的に行いました。

タブレットを使って奥川支所にいる岩橋集落支援員と弥平四郎集落をつなぐと、驚きと喜びの声に包まれました。その後、実際に遠く離れた場所にいる家族とビデオ通話でつなぐと、集落の皆さんの笑顔もさらに広がり、とてもいい瞬間に出会えました。

タブレットやスマートフォンなどを介し、離れた場所にいる人と顔を見て話せることが注目されている一方で高齢者にとっては、ビデオ通話の操作が難しく、覚えるのが大変という声もありました。サポートしながらこうした取り組みを行っていくことで、地域住民の皆さんの元気づくりの支援につながれば良いと感じます。

福島大学オンライン講演

奥川地区と継続的に交流がある福島大学の岩崎ゼミの授業で、岩橋集落支援員とともにオンライン講演を行いました。1学年20名を対象に西会

津町や集落支援の活動について話をしました。今年も、新型コロナウイルスの影響によって、いまだに交流ができない状況が続いています。しかし、学生や先生とオンラインで話す機会があることで、離れていても関わり続けることができていると思います。



福島大学オンライン講演の様子

感想や質問も活発に交わることができ、西会津町に興味を示す学生がこれから増えていくことを期待します。そして、新型コロナウイルスの流行が終息したときに大学生の力を活用しながら交流ができるのを心待ちにしています。